

会 議 録

会議名	平成19年度第4回宇都宮市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成20年3月27日(木) 午後2時00分から3時15分
開催場所	宇都宮市役所 14階 14大会議室
出席者	<p>【会長】大貫隆久</p> <p>【委員】阿久津均, 菊地公史, 工藤正志, 金枝右子, 寺内典子, 結城笑子, 島田義彦, 渡部修三, 椎名雅彦, 若月章男, 柏崎一三, 新津謙治(計13名)</p> <p>【事務局】小平環境部長, 他27名</p>
公開・非公開	公開
傍聴者数	なし
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. (仮称)みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例について 2. その他プラスチック製容器包装資源化施設整備基本計画の概要について
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提言書(案)に基づき事務局から報告(質疑応答) 2. 基本計画の概要について事務局から報告(質疑応答) 3. 議事1の提言書(案)の了承を受け, 会長より答申

議 事

1. (仮称)みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例について
事務局から説明

発言要旨

(仮称)みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例について

工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合計4件のパブリックコメントが寄せられたとのことだが, 意見の数については, 一般的な数と見てよいのか。また, その男女比および年齢層はいかがであったのか。
事務局 (廃棄物対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同時期に募集をしていた路上喫煙に関するパブリックコメントに, 22件の意見が寄せられたとのことであるが, そのパブリックコメントと比較をすると, 少数の偏りがあったように見受けられる。 ・ 4名のパブリックコメントはすべて男性からであり, すべて40代以上の方であった。
大貫会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメントの平均的な回答数はどのくらいか。
事務局 (廃棄物対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 把握しておらず, 確認は難しいため不明である。
大貫会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の応募件数は, 少し少ない気がする。

事務局 (廃棄物対策課)	・ ごみに関するパブリックコメントは、一般的に少ない傾向にある。
大貫会長	・ それでは、「(仮称)みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例」の答申案について、今までに出た意見を踏まえた上で答申するということよろしいか。
全員	・ 異議なし

議 事

2. その他プラスチック製容器包装資源化施設整備基本計画の概要について 事務局から説明

発言要旨

その他プラスチック製容器包装資源化施設整備基本計画の概要について

新津委員	・ 昨日、テレビでペットボトルのリサイクルについて約4割は焼却処理されていると聞いた。リサイクルではなく、リユースを考える必要があるのではないかと。鴨下環境大臣からも同じ趣旨の発言があったように思う。また、環境先進国のドイツでは、再利用が常識であると聞く。市としては、法や条例等を参考に施策を展開していると思うが、どのように考えているのか。一方で、ごみを焼却する際の燃料としたほうが理にかなっているという意見もある。このような意見も含めてお聞きしたい。
事務局 (クリーンセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇都宮市におけるその他プラスチック製容器包装分別収集の必要性については、計画書1-3の2でまとめている。その中で、「循環型社会の推進」において、その他プラスチック製容器包装の分別は、限りある資源を有効に活用できる。次の「ごみの発生抑制・減量化・資源化の推進」において、本市も資源物以外のごみを20%削減するという国の計画に従って、ごみの減量化・資源化を進めている。地球温暖化対策を推進する上で、温室効果ガスの削減にもつながるものと思っている。このため、今後ごみの減量を進めていくにあたり、その他プラスチック製容器包装の分別は必要であると考えている。 ・ また、本市の現状として、焼却ごみの中に廃プラスチックが相当数混入しており、カロリーが高いことから、処理能力が十分に発揮できないため、混入率を下げる必要がある。 ・ 今回の分別収集及び新工場の稼働については、現在の清掃工場の安定稼働、そして北清掃センターの休止へとつなげる上で必要であると考えている。
新津委員	・ 資料に必要性は書いてあるが、将来見直すことはないのか。慌てて実施する必要はないのではないかと。
大貫会長	・ 今のご意見については、事務局への要望ということよろしいか。
新津委員	・ はい。

工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集を開始する場合、収集日はどのごみの日に設定するのか。また、施設の運営について民間に委託するとのことだが、どれくらいの人数を予定しているのか。 ・ その他プラスチック製容器包装を分別するにあたり、全体のごみの何%が資源になると見込んでいるのか。
事務局 (クリーンセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集日については、検討段階ではあるが資源物の収集日を想定している。施設全体での運営人数は、最低でも25名体制を考えている。その他プラスチック製容器包装は、焼却ごみ全体である約18万トンのうちの9,100トン程度、5%程を見込んでいる。
寺内委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭で実際にその他プラスチック製容器包装の分別をしてみると、焼却ごみとして排出するのは生ごみくらいではないだろうか。このような計画を実施することについて、非常に賛成である。
阿久津委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備スケジュールに、今年度に今ある施設の解体工事を行うと示してあるが、安全性についてはどのように考えているのか。
事務局 (クリーンセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解体工事については、ダイオキシンが焼却炉に付着しているため工事を延期してきたところである。現在では解体業者の技術も向上し、国においても解体を安全に行うための要綱が整備され、それに準拠して解体工事を進めているので、作業員及び周辺地域への安全も心配はないと考えている。 ・ 万一を考え、土壌汚染については、念のために敷地内東西南北4箇所ダイオキシンの測定をしたいと考えている。
阿久津委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣住民への周知はどのように進めているのか。
事務局 (クリーンセンター)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度から、事業所の半径300mにある4つの自治会に入り、自治会長レベルで5～6回の説明会を実施してきたが、目立った反対の声は上がってきていない。今後は、搬入道路についても説明を行い、平成22年度の稼働開始までに整備していきたいと考えている。

答申

3. (仮称)みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例について
大貫会長より佐藤宇都宮市長へ答申

発言要旨

4. その他	
大貫会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他として何かあるか。
事務局	【小平環境部長より、実質的な審議の終了及び審議会への参加のお礼】
大貫会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の審議会はこれで終了となる。委員の皆様、ご協力に感謝する。 ・ 以上をもって、宇都宮市廃棄物減量等推進審議会第4回審議会を終了する。